

SDGs de 地方創生公認ファシリテーターのみなさまへ

こちらの資料は、私たちがこのSDGs de 地方創生オンラインゲームに込めた想いや目的などを書かせていただきました。オンラインゲーム体験会にご参加いただく前にお読みいただき、オンラインゲームに参加するかどうか、また、オンラインゲームのファシリテーターになるかどうか、ご検討いただく材料にさせていただけますと幸いです。

目次

1. SDGs de 地方創生オンラインゲームが生み出す可能性
2. プロトタイプ版を実施してみて感じていること
3. オンラインゲームの活用シーン
4. オンラインゲームの運営ライセンスについて

1. SDGs de 地方創生オンラインゲームが生み出す可能性

2020年のコロナ禍により、「SDGs de 地方創生を実施したいけれどもできない」、「参加したいけれども場が無い」という状況が続いてきました。世の中の価値観も大きく変わり、リモートワークやオンライン研修の導入が一般化してきました。

株式会社プロジェクトデザインにおいては、他のゲーム型コンテンツにおいて、それまで対面で行ってきたビジネスゲームを、オンライン化してきました。このノウハウを活用しながらSDGs de 地方創生オンラインゲームを開発する過程で、様々なことが見えてきました。

- ・住んでいる場所に関わらず、参加の場を提供することができる。
- ・子育てや介護などの理由で外出が難しくても、自宅で参加できる。
- ・遠く離れた参加者同士が、一つの地域について語り合える場が作れる。

他にも、生み出すことができる可能性があるかもしれません。ファシリテーターのみなさまと共に、オンラインゲームを幅広く活用していければと思っています。

2. プロトタイプ版を実施してみて感じていること

このオンラインゲームをファシリテーターのみなさまにこうして体験していただける状態になるまで、社内外で何度も「テストプレイ」を重ねてきました。

また、2021年6月には都内大手通信会社様にて、社内研修としてこのオンラインゲームを実施したところ、運営側が意図した学び・気づきを引き出すことができ、このゲームを世に広げていくことを決断したところです。

私たちがゲームを開発、運営する中で大切にしていることの一つに「誰一人取り残されない」というものがあります。

今回開発した生オンラインゲームは、オンライン会議ツール「Zoom」とゲームソフト「Unity」を併用してゲームを進めていきます。Zoomを使ってチャットや声で交渉を行い、Unityを使ってゲーム上のアクションを行います。

この全く異なる2つのソフトを使いながら学びや気づきを収穫していくには、参加される方々の個々のオンライン・リテラシーを事前に揃えておく必要があると思っています。この特性から、このオンラインゲームが、広く参加者を募る形で一般開催された場合には、ゲームについていけない参加者を生み出す懸念があると考えています。

運営するファシリテーターにとっても、オンライン・リテラシーが求められます。参加者をオンラインならではのテクニカル面でサポートする場面もあるでしょう。

一方で、オンラインの場だとファシリテーターの熱量や個性が、対面の場に比べて参加者に伝わりにくいいため、参加者のニーズに合った場の設計さえできていれば、誰がファシリテーターであったとしても、運営の質を安定させることができるとも考えています。

3. オンラインゲームの活用シーン

ここまで書かせていただいたオンラインゲーム開発の経緯を踏まえると、広く参加者を募る形で一般開催する場面を使った場合には、オンラインという特性上、全ての参加者にご満足いただける場にはならない懸念があります。

一方で、事前にオンラインゲームへの接続テストやPCスペックが問題無いことを確認したうえで「組織内研修」として活用することができます。折しも、株式会社プロジェクトデザインでは、The 商社などのビジネスゲーム研修のオンライン化を行ってきました。このノウハウをSDGs de 地方創生オンラインゲームにも活用していきたいと思っています。

以上のことから、**SDGs de 地方創生オンラインゲームは、「組織内研修」という場面に限定して使用することができるものとします。**

組織内研修とは、例えばSDGsや地方創生を推進する企業内や自治体内での研修が該当します。「組織内」や「研修」という言葉の定義に該当するかどうか悩まれるファシリテーターの方もいらっしゃるかもしれませんが、その場合には、「広く参加者を募る形で一般開催する場面」を作りたいくない、という趣旨からお考えいただけると嬉しいです。

だからこそ、私たち運営事務局が行うオンラインゲームの体験会も、公認ファシリテーター養成講座を受講いただいた方々に限定したものとしており、一般の方は参加されません。

4. オンラインゲームの運営ライセンスについて

オンラインゲームを運営するライセンスをお渡しする講座(SDGs de 地方創生オンラインゲーム養成講座)を開催していく予定です。以下、概要をお伝えいたします。

【対象】

SDGs de 地方創生公認ファシリテーターのうち、「営利ライセンス」かつ「本免許」をお持ちの方。(コンサルタントや企業研修を実施されているファシリテーターの方を主に想定しています)

【SDGs de 地方創生オンラインゲーム養成講座の料金体系】

121,000円を予定しています。内訳は以下です。

- ①講座受講料:55,000円
- ②Unity利用料:研修実施1回につき33,000円
- ③初回運営サポート:33,000円

③の初回運営サポートとは、ファシリテーターのみなさまが初めて研修として実施されるにあたり、私たち事務局が運営のサポートをさせていただき費用となります。なお、運営サポートを活用いただくことを推奨しますが、強制ではありませんので、サポートが不要である場合にはお申し出ください。その場合、運営サポート費用分を返金いたします。

また、初めて研修として本番を迎えられる前に、公認ファシリテーターの方々を対象を限定したうえで実施することが可能です。その場合には、Facebookの公認ファシリテーター限定のコミュニティに告知してください。

【SDGs de 地方創生オンラインゲーム養成講座の日程】

オンラインゲーム体験会のアンケートで「養成講座受講希望」とお伝えいただいた方々に個別でご案内差し上げます。

ここまで長文をお読みいただき、ありがとうございます。色々とお書かせていただきましたが、オンラインゲーム体験会にはお気軽にご参加頂ければと思います。

なお、オンラインゲーム体験会のお申し込みの前には、必ず下記4点をご確認の上、お申し込みをお願い致します。

<お申し込みいただく前に必ずご確認ください>

①パソコンのご用意

SDGs de 地方創生オンラインゲームは、スマートフォンやタブレットでの動作保証はしておりません。当日は、必ずパソコンよりアクセスをお願いします。

②パソコンのスペック、インターネット環境の確認

ご使用されているパソコンやインターネット環境によっては、ゲームにご参加いただけない場合がございます。下記資料を必ずお読みいただいた上で、パソコンやインターネット環境のご用意をお願い致します。

[ゲームシステム接続にあたってのご案内](#)

③SDGs de 地方創生オンラインゲームシステムの接続テストの実施

ご使用されているパソコンやネットワーク環境でゲームにご参加いただけるのか、確認するための接続テストです。お申込み前に、当日ゲームに参加される同じ環境で、必ず実施いただき、「成功」と出た場合にのみお申込みをお願い致します。

オンラインゲーム接続テスト

<https://pd-connectivity-test.web.app>

④その他、当日の接続環境について

- ・接続テストを実施し、「成功」と出た環境にてご参加をお願いします。
- ・安定したインターネット環境をご用意ください。
(スマートフォンのテザリングは不安定になりやすいため非推奨)
- ・当日はゲームや対話を多く行います。耳だけ参加はご遠慮ください。
- ・周囲の雑音を拾わない、静かな場所での参加を推奨します。
- ・カメラは任意ですが、基本的にオンを想定しています